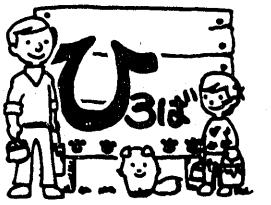


111111111111



優秀は川崎君と五十嵐さん

山田健康賞きまる

五十一

定し、基金を健康優良児等の
被表彰児童は次のとおり

各講座かれいにし

スポーツ活動の振興が目的 人講座、

中央公民館社会体育関係
○市民登山　年二回、六月と十月
○卓球教室　年二回　十月と二月
○壁球スポーツ教室　七月、九月の年三回。フリ
　テニスは　九月の予定で
　す。
○学校開放事業
○社会体育施設開放事業
以上三つは、地域の各種
市民講座を計画しました。
そのほかに、社会体育関係
の事業を計画しました。
木崎、岡本、長浦、早通の
各地区公民館でも、五十五年
度の事業計画ができました。
そこで、主だった計画をお
知らせします。

○ 木崎公民館 ○ 水彩画教室 ○ 長浦公民館 ○ 手芸講座

○ 書道教室 ○ 舞蹈教室 ○ 喬山公民館 ○ いけばな教室

○ 大会。バドミントン教室、市長杯選抜野球大会など、各種のスポーツ関係事業を計画していまます。

皆さん、ふるって参加して下さい。

昨年までの、デッサン教室は三月で終りました。四月から三月末まで、毎週火曜日新しく水彩画教室を開設します。物を見る目を養い表現する楽しさを味わえる講座です。

○ 書道教室
今年から新しく始める講座です。期間は四月から三月までで、毎週木曜日です。その他、昨年に続き、婦人講座です。

○ 舞蹈教室
引き続いて、今年も七月から十二月末まで、毎週一回開きます。

○ 喬山公民館
創作の楽しさの習得を目指す。

このほか、バレーボール大会、バドミントン教室、市長杯選抜野球大会など、各種のスポーツ関係事業を計画していまます。

皆さん、ふるって参加して下さい。

昨年までの、デッサン教室は三月で終りました。四月から三月末まで、毎週火曜日新しく水彩画教室を開設します。物を見る目を養い表現する楽しさを味わえる講座です。

○ 書道教室
今年から新しく始める講座です。期間は四月から三月までで、毎週木曜日です。その他、昨年に続き、婦人講座です。

○ 舞蹈教室
引き続いて、今年も七月から十二月末まで、毎週一回開きます。

○ 喬山公民館
創作の楽しさの習得を目指す。

生きて甲斐教室入学してから医者しらず	バスしたが入学金が待ったか	阿部 雅雄
落ち穂にはならぬ決意で定期制	鹿島 郁子	三膳 一男
落ち武者が三々五々と定期二	ランドセル枕元おき明日の夢	師橋 山雨
学金	赤門に入りて心も赤く染め	服部 尚二
入学金積んで遊べる三年	曰井さつ子	赤門
入学がきまり息子がよく眠る	パーの汗おふくろ足した入	井上 瞳子
米田 トミ	学金	井上 瞳子
赤門も幣東次第で通用す	品田 浪乱	赤門
天堂	曾我 天堂	赤門
トミ	赤門	赤門

市民文芸

1

みなさんもお元気で

各校で卒業式

みなさんもお元気で

各校で卒業式

卒業式がありました。卒業生総数は六百四十八人でした。

三月二十五日、市内の各小学校で

入学式天衣无缝が駆けめぐらし中川草薙、吉川初枝、佐藤啓四郎

卒業式がありました。

卒業式は、園芸、発達を図るなど、実生活を計画します。

このほか、講演会など、各公館では、多くの行事を計画しています。

その他の、大運動会、ふるさと祭り、料理講習なども計画しています。

入学日は依りも親が落付かずもビンもキリもみんな入学する入れます。

大倉貞良、野村良平、大河内重蔵、本間重蔵

子供より親が着飾る入学日

東守の塔裏街道で握ぎしし門をくぐつて出口のない医大

大きい奴来たぞ怖氣の一年生
浪人の意地娘爽と赤き門 大島 残葉
俳句 豊栄市俳句会
瘦せ田縦ぐ心決めかね岸萌ゆ 田辺 萩由
刺り傷も男の魅力返る 鎌倉 豊月
菖蒲 呼舟

校章めぐり(15)

長浦中学校

校歌（中野一三郎作詞 山田正与作曲）の三番に「ながめはひるき浦原の、菱の花や実の咲くころ」が、うたわれていますが、緑の菱の葉を底に、中学の中の文字を黄金色で配したもので、ふるさとの象徴ともいえるこの菱も、福島潟の干拓で幻

学校（団体）

山月二十三日 会場農場（本市関係者のみ）

○中学男子 参加十一チーム

①葛塚中 A ○中学女子 参加九チーム

○一般男子 ○葛塚中 A

②農業クラブ

菅原道の古事記　日記述
休耕田我が物顔の岸太し　松永　松翠
芹摘むや土にめり込む丸木橋　五十嵐柳翠
破れ篠小さき岸の芽覗きいる　天野ただお
高橋　紅夢

ひろば

13

長浦中学校（土田彦蔵校長、生徒数五十五人、職員四人）

校章の由来

学校沿革論によれば、校章は昭和二十三年四月一日に制定とあります。

当時の教頭、坂井俊司さんは「現在上大月居住」に伺った（現在上大月居住）と云ふ、公募作品をもとに、武子千代という先生（現在東京在住）が図案化したといります。（土田校長記）

の存在にならうとしています。
かつて、この校章のもと、多感な青春の時代を過ごし、卒業した三千五百余人の生徒は、現在、社会の有為な人材として、各方面で活躍しています。

生徒数は、年々漸減していく

（個人）
○中学男子 参加九十七人
○近藤隆士（葛塚中）
○田中樹（葛塚中）
○佐藤信一（葛塚中）
○中学校女子 參加七十人
○水戸加代子（葛塚中）
○横山まゆみ（葛塚中）
○田納千子（葛塚中）
○一般女子
○横谷川悦子（豊栄クラブ）
③長谷川悦子（豊栄クラブ）

山(⑤) 一
冴返る登校兒童皆無口 小柳 葉歩
暖冬の風エプロンに芽を揃む 鈴木 宝竹
冴返る事なき春を迎へたし 星野 荘城
冴返る崩の蛇口開け放し 長谷川逸雄
星二つ木立の上に冴返る 本田十一郎
妻の指先夜の花柄芽盛り